

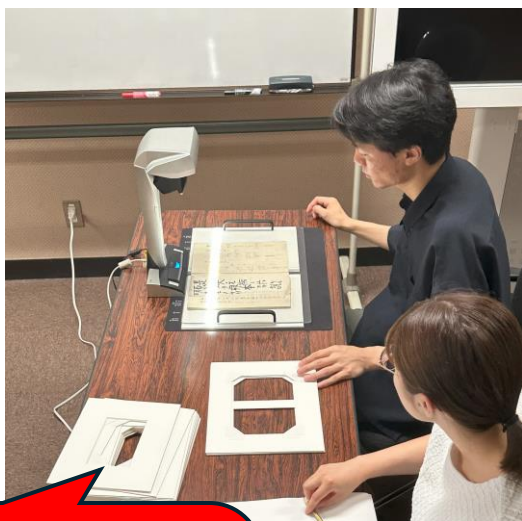
地域和算関連資料のデジタルアーカイブ構築と 検索可能な和算書データベースの融合

YU-COE (M) 地域和算アーカイブ研究拠点

小幡圭祐（歴史学・地域アーカイブズ学）・脇克志（応用数学・和算）・佐藤琴（博物館学・日本美術史）・
Diez・Donoso Santiago（数理情報学）・Antonia Karisl（早稲田大学／古文書学・OCR技術）

◆本研究の目的：

本研究では、デジタルアーカイブとなっていない山形大学中央図書館の和算関連資料を精査することで、統一された標準アーカイブ構造の設定を行い、文字・画像・動画・立体構造・地理(GIS)の情報を有機的に結び付ける動的な階層型インデックスを実装したデジタルアーカイブを構築する。このデジタルアーカイブでは様々な手法によるデータ検索を可能とし、1冊の和算書から類似問題を掲載した別の和算書・著者に関する地域和算研究者の考察、著者が居住した地域の当時の関連情報などが芋づる式に引き出すことが可能となる。和算に関する時間軸・空間軸・人脈を横断できるデジタルアーカイブは存在しない。本研究のデジタルアーカイブは江戸時代における日本人の知能レベルを評価し、日本が明治維新以後の劇的な社会情勢変化を乗り越えて、奇跡的な復活をとげた理由を探る上での有用なツールとなる。



和算書：江戸時代の数学書

山形大学中央図書館所蔵の和算書

- ◆ 佐久間文庫：山形市七日町に生まれた和算家会田算左衛門安明の弟子の直系である佐久間森一郎の旧蔵書（1286点）
- ◆ 志鎌文庫：会田安明の直伝（5伝）となる志鎌小平治安重(1853-1936)の所蔵資料（146点）



学生AAが資料
の取扱いや
デジタル化
作業を学ぶ
↓
人材の育成

デジタル化

文字・図形情報の抽出



統一された標準
アーカイブ構造
の設定

統一された標準
アーカイブ構造
の設定

和算書
データベース

デジタル
アーカイブ

山形
アーカイブ

融合型和算ポータルサイト



◆拠点の将来構想：

資料を朽ちらせることなく後世に残すことは山形大学が行うべき必要最低限の作業であるが、それ以上に重要なことは和算を知る人材は絶えさせないことにある。日本人が作り上げた文化的創造作品群と呼んでよい「和算」を学び・伝える人材の育成は、日本に必要な現代の学びを作り上げる上で参考にすべき過去の成功例を伝える重要な活動と考える。完成したデジタルアーカイブは、和算を知らない海外を含めた多くの人々が和算の楽しさ・難しさ・美しさ、そして現代の人々に新しい喜びをもたらすことを知らせることを可能にする。ユネスコが主催する「世界記憶遺産」への登録も夢ではないと考える。

和算を
未来へ！